



* 2011 年 4 月 21 日、米国にて発表されたプレスリリースの全訳です。
同発表に関するカンファレンス・コール/ウェブキャスト再生、プレゼンテーション資料、および関連資料等は、GE ウェブサイト内「インベスター・リレーション」(http://www.ge.com/investors/events/event_id04212011.html) をご覧下さい。

PRESS RELEASE

GE、2011 年度第 1 四半期の業績を発表

2011 年第 1 四半期の 1 株当たり営業利益は 65%増の 0.33 ドル

第 1 四半期の売上高は 6%増の 384 億ドル

四半期配当は 0.01 ドル増の 0.15 ドル

2011 年度第 1 四半期の決算ハイライト (GE に帰属する継続事業)

- 利益は 4 四半期連続で 2 桁増。
- 第 1 四半期の営業利益は 58%増の 36 億ドル、1 株当たり営業利益(EPS)は 65%増の 0.33 ドル。
- 一般会計基準(GAAP)ベースの利益は 48%増の 34 億ドル、GAAP ベースの 1 株当たり利益は 48%増の 0.31 ドル。
- 事業環境の改善が続くなか、好調な売上高を達成。
- 産業分野事業の売上は 8%増、同事業の内部成長率は 5%。
- 産業分野事業の米国外での売上は 12%増。
- インフラストラクチャー事業の受注高は 13%増の 190 億ドル。
- バランスの良い資本配分計画を実行中。
- 2011 年第 3 四半期より、四半期配当を 0.01 ドル増の 0.15 ドルに引き上げ。過去 12 ヶ月で 3 度目の増配。
- GE キャピタルの利益は 18 億ドル、税引き前利益は 23 億ドル。
- NBC ユニバーサル売却に関する課税および GE キャピタルの利益好転により、連結法人税率は 53%。
- 2011 年度のフレームワーク (事業見通し) 達成に自信。

2011年4月21日【米国コネチカット州フェアフィールド】

GEは本日、2011年第1四半期の順調な業績を発表しました。営業利益は前年同期比58%増の36億ドル、1株当たり利益に換算すると65%増の0.33ドルとなりました。(GEに帰属する)一般会計基準ベースの継続事業からの利益は前年同期比48%増の34億ドル(1株当たり利益は同じく48%増の0.31ドル)となりました。当四半期の売上は前年同期比6%増の384億ドルとなりました。また、GEは2011年第3四半期より、四半期配当を0.01ドル増の0.15ドルに引き上げます。過去12ヶ月で3度目となる今回の増配決定は、今後の業績に対する経営陣の自信の表れです。

GE のジェフ・イメルト会長兼 CEO は次のように述べています。「本日発表した業績が示すとおり、リセッションを乗り越え、GE はさらに力強く競争力のある企業となりました。GE ヘルスケア、トランスポートーション (運輸)、アビエーション (航空) の各部門は堅調な業績を達成しました。また、高成長セグメントへ戦略的投資を行った結果、当社のエナジー事業のポートフォリオが強化され、今年後半にかけて同事業の成長路線を取り戻せる位置につきました。当四半期の受注残高は、過去最高の 1,770 億ドルとなりました。」

「当四半期 GE キャピタルも堅調な業績を達成し、税引き後利益は 18 億ドルとなりました。損失が峠を越えた今、我々は高採算の見込める新規案件の組成に取り組んでおり、同社の調達コストも引き続き好条件です。融資ポートフォリオの質が改善したため、当四半期の準備金カバー率は微減しました。2010 年第 1 四半期以降、我々は GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の Tier 1 普通資本比率を 7.8%から 9.8%に改善し、同社の負債比率 (レバレッジ) を 5.5:1 から 4.5:1 に引き下げました。GE キャピタルのフランチャイズ (事業基盤) を強化した今、我々は将来の収益成長に向け着実に進んでいます。」

当四半期、GE は研究開発投資を 12%拡大し、50 種近いヘルスケアおよびエナジー関連の新製品を発売しました。産業分野事業の営業利益率は前年同期比 1.1 ポイント低下し、14.3%となりました。当四半期を通じて、デフレ傾向が続いたためです。また、風力発電機器の価格下落や、2010 年に発生したアビエーション・フランチャイズ（航空部門）の手数料収入および新規案件が継続しなかったことも利益率に影響しました。GE 産業分野事業の営業活動による当四半期のキャッシュフロー総額は 17 億ドルとなり、通年の目標である 120～130 億ドル達成に向け順調に推移しています。現金および現金同等物の連結期末残高は 820 億ドルでした。

GE のバランス良い資本配分計画が投資家にとってプラス要因であることは変わりません。具体的には、2010 年第 2 四半期以降、累計で 50%増となる配当金を決定したほか、エナジーおよびヘルスケア事業で長期的な成長の牽引力となる新規 M&A を 6 件発表し、23 億ドル規模の自社株買いを実施しました。

当四半期に利益を計上した項目のほとんどが、最終的には費用に相殺された結果となりました。GE による NBC ユニバーサル売却が完了した結果、新会社の持ち分が 49%となり、税引き後の 1 株当たり利益が 0.04 ドルとなったものの、税引き後 1 株当たりの事業再編その他費用 0.02 ドルおよび同 1 株当たり買収・売却関連コスト 0.01 ドルによって部分的に相殺されました。

「1 月に実施した 2010 年度末決算発表カンファレンス・コールの際に述べたとおり、NBC ユニバーサル売却の結果、当社の税率が高くなると予測していました。売却による影響を入れると、2011 年第 1 四半期の連結ベースの当社法人税率は前年同期比 37 ポイント増の 53%となりました。」

「2011 年度の当社フレームワーク（事業見通し）達成への確信は変わりません。資本配分計画を着実に実行しており、将来の成長および競争力強化に向けた投資を継続しています。GE のビジネスモデルは、2011 年以降も株主の皆さまに利益成長を提供できるものであると考えています。」とイメルトは述べています。

2011 年第 1 四半期の決算ハイライト

2011 年第 1 四半期の営業利益は前年同期の 23 億ドルから 58%増の 36 億ドルとなりました。1 株当たり営業利益は前年同期の 0.20 ドルから 65%増の 0.33 ドルでした。セグメント別利益は、GE キャピタルが 200%以上の増加、トランスポート（運輸）が 37%増、ヘルスケアが 7%増、アビエーション（航空）が 5%増となり、エナジー・インフラストラクチャー事業の 7%減の影響を大幅に圧縮し、全体では前年同期比 36%増となりました。

非継続事業の実績を含めると、2011 年第 1 四半期の GE に帰属する純利益は 34 億ドル（普通株 1 株当たり 0.31 ドル）となりました。なお、前年同期の純利益は 19 億ドル（普通株 1 株当たり 0.17 ドル）でした。

2011 年第 1 四半期の売上高は、6%増の 384 億ドルとなりました。GE キャピタルサービス(GECS)の売上高は、前年同期比 3%増の 132 億ドルとなりました。産業分野事業の売上高は同 6%減の 221 億ドルとなりました。

GE 産業分野事業の営業活動による 2011 年第 1 四半期のキャッシュフロー総額は前年同期の 26 億ドルから 34%減の 17 億ドルとなりました。

注：別紙の財務諸表には、当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報が含まれています。

* * *

GE について

GE は、世界各国においてインフラストラクチャーおよび金融の分野で事業を展開し、世界が直面している困難な課題の解決に貢献しています。航空機、発電をはじめ、金融サービスやヘルスケア・ソリューション、石油・ガス、鉄道事業にいたるまで、幅広い商品とサービスを、世界 100 カ国以上のお客さまに提供しており、約 30 万人の従業員を擁しています。詳細は、GE のホームページをご覧ください。GE は、日本においても 100 年以上にわたって事業展開しており、社員は約 5,000 人を数えます。日本における GE の事業・活動等については、<http://www.ge.com/jp/>をご覧ください。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」「予想する」「つもりである」「計画する」「信じる」「捜し求める」「見込む」「～であろう」といった言葉を含むことがよくあります。「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GE の実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不

確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む、現在の経済・金融状況、当社が計画する GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECC の資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行（デフォルト）になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、日本の消費者金融におけるグレーゾーン金利返還の当社見積もりに対する実際の請求状況、日本の天災地変による財務面への影響可能性、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する当社の能力に影響を及ぼし得る、当社のキャッシュフローや利益など財務状況の適切性、当社の客先である主要産業（航空会社、鉄道、エネルギー生産、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業）からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響（金融関連法令の影響を含む）、買収・合併事業・売却など戦略的行為や、発表済みの案件完了や買収した事業の統合における当社の成功、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来における GE の実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GE は「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

本件に関するお問い合わせ

日本 GE コーポレート・コミュニケーション本部

TEL: 03-3588-9500

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー

損益計算書

	連結			GE (a)			金融サービス(GECS)		
1 - 3 月期	2011	2010	V%	2011	2010	V%	2011	2010	V%
売上げ									
商品およびサービス売上げ	\$21,991	\$23,673		\$22,102	\$23,509		\$42	\$281	
その他の売上げ	3,626	350		3,665	376		-	-	
GECS の継続事業による売上げ	-	-		1,806	515		-	-	
GECS のサービス売上げ	12,831	12,181		-	-		13,112	12,489	
総収入	38,448	36,204	6%	27,573	24,400	13%	13,154	12,770	3%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費および一般管理費	25,235	26,440		20,228	20,900		5,304	5,831	
支払い利息およびその他の財務費用	3,879	4,023		355	343		3,667	3,800	
投資契約・保険損失・保険および年金給付	736	747		-	-		769	787	
貸倒引当金	1,163	2,187		-	-		1,163	2,187	
売上原価および費用合計	31,013	33,397	(7)%	20,583	21,243	(3)%	10,903	12,605	(14)%
税引前の継続事業による利益	7,435	2,807	F	6,990	3,157	F	2,251	165	F
法人税等引当額（引当金）	(3,927)	(443)		(3,513)	(788)		(414)	345	
継続事業による利益	3,508	2,364	48%	3,477	2,369	47%	1,837	510	F
非継続事業による税引利益	19	(366)		19	(366)		19	(363)	
純利益	3,527	1,998	77%	3,496	2,003	75%	1,856	147	F
非支配持分の純利益（損失）を差し引く	94	53		63	58		31	(5)	
当社に帰属する利益	3,433	1,945	77%	3,433	1,945	77%	1,825	152	F
優先株主配当	(75)	(75)		(75)	(75)		-	-	
普通株主に帰属する純利益	\$3,358	\$1,870	80%	\$3,358	\$1,870	80%	\$1,825	\$152	F
当社に帰属する利益									
継続事業による利益	\$3,414	\$2,311	48%	\$3,414	\$2,311	48%	\$1,806	\$515	F
非継続事業による税引き利益（損失）	19	(366)		19	(366)		19	(363)	
当社に帰属する純利益	\$3,433	\$1,945	77%	\$3,433	\$1,945	77%	\$1,825	\$152	F
継続事業による 1 株あたり利益									
希釈化後	\$0.31	\$0.21	48%						
希釈化前	\$0.31	\$0.21	48%						
1 株当たり純利益									
希釈化後	\$0.31	\$0.17	82%						
希釈化前	\$0.32	\$0.17	88%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,641	10,687	-%						
希釈化前	10,611	10,671	(1)%						
1 株当たり配当額	\$0.14	\$0.10	40%						
当社に帰属する利益									
継続事業による利益	\$3,414	\$2,311	48%						
営業外の税引き年金コスト（収入）を差し引く	163	(51)							
営業利益（非 GAAP 財務指標）	\$3,577	\$2,260	58%						
希釈化後 1 株当たり営業利益	\$0.33	\$0.20	65%						

(a) GECSを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業分野事業を対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECS」欄に示す。

「連結」欄には、GEとGECS間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は、www.ge.com/ar2010に掲載されている2010年結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約 (未監査)

(単位：100万ドル)

	3月31日までの 3ヶ月間		
	2011	2010	V%
売上げ			
エネルギー・インフラストラクチャー	\$ 9,449	\$ 8,655	9%
アビエーション(a)	4,368	4,165	5%
ヘルスケア(a)	4,090	3,733	10%
トランスポートーション(a)	903	766	18%
ホーム&ビジネス・ソリューションズ	1,989	1,940	3%
GE キャピタル	12,324	11,931	3%
全セグメントの売上げ	33,123	31,190	6%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	5,325	5,014	6%
継続事業による連結売上げ	\$ 38,448	\$ 36,204	6%
セグメント別利益 (a)			
エネルギー・インフラストラクチャー	\$ 1,381	\$ 1,481	(7)%
アビエーション(a)	841	799	5%
ヘルスケア(a)	531	497	7%
トランスポートーション(a)	157	115	37%
ホーム&ビジネス・ソリューションズ	74	71	4%
GE キャピタル	1,842	583	F
全セグメントの利益	4,826	3,546	36%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	2,456	(104)	F
GE 金利およびその他の金融手数料	(355)	(343)	(3)%
GE 法人税引当金	(3,513)	(788)	U
継続事業による利益	3,414	2,311	48%
非継続事業による税引き利益 (損失)	19	(366)	F
連結純利益	\$ 3,433	\$ 1,945	77%

(a)セグメントを再編し2011年1月1日より施行。それ以前の金額に関しては当期の表示内容に合致するように再分類された。
セグメント別利益の評価対象から除外される項目は、非継続事業、連結子会社の非支配持分および会計処理変更による影響である。セグメント別利益は、セグメント別の経営評価方法に応じて、利息やその他財務費用、法人税等を算入する場合も、除外する場合もある。セグメント別利益からこれらを除外しているのは、エネルギー・インフラストラクチャー、アビエーション、ヘルスケア、トランスポートーション、ホーム&ビジネス・ソリューションズであり、これは営業利益とも言えるものである。セグメント別利益にこれを含めているのは金融事業（GEキャピタル）で、これは純利益とも言えるものである。過去に連結子会社であったNBCユニバーサルの業績は、セグメント間取引の消去および本社勘定の項目に計上。2011年1月1日より前は、主要な年金プランによる影響を除外していた。2011年1月1日以降は、主要な年金プランに関するサービス費用を配賦しており、退職後健康保険手当に関する退職者コストのセグメントに対する配賦は行っていない。セグメント別の営業費用と稼働社員コスト（セグメント別に管理されるコスト）の整合性が高まるよう、配賦方法を改定した。

セグメント別業績の要約（未監査）
追加情報

3月31日までの
3ヶ月間

(単位100万ドル)

エナジー・インフラストラクチャー

	2011	2010	V%
売上げ	\$ 9,449	\$ 8,655	9%

セグメント利益	\$ 1,381	\$ 1,481	(7)%
---------	----------	----------	------

売上げ

エナジー	\$ 7,845	\$ 7,205	9%
------	----------	----------	----

オイル & ガス	1,787	1,593	12%
----------	-------	-------	-----

セグメント利益

エナジー	\$ 1,221	\$ 1,339	(9)%
------	----------	----------	------

オイル&ガス	199	191	4%
--------	-----	-----	----

GE キャピタル

売上げ	\$ 12,324	\$ 11,931	3%
-----	-----------	-----------	----

セグメント利益	\$ 1,842	\$ 583	F
---------	----------	--------	---

売上げ

Consumer Lending and Leasing (CLL)	\$ 4,608	\$ 4,594	-%
------------------------------------	----------	----------	----

コンシューマー	4,941	4,564	8%
---------	-------	-------	----

リアル・エステート	907	944	(4)%
-----------	-----	-----	------

エナジー・フィナンシャル・サービス	345	791	(56)%
-------------------	-----	-----	-------

GE Capital Aviation Services (GECAS)	1,325	1,239	7%
--------------------------------------	-------	-------	----

セグメント利益

CLL	\$ 554	\$ 232	F
-----	--------	--------	---

コンシューマー	1,257	569	F
---------	-------	-----	---

リアル・エステート	(358)	(403)	11%
-----------	-------	-------	-----

エナジー・フィナンシャル・サービス	112	153	(27)%
-------------------	-----	-----	-------

GECAS	306	317	(3)%
-------	-----	-----	------

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
連結貸借対照表

(単位10億ドル)

資産	連結		GE (a)		金融サービス(GECS)	
	3/31/11	12/31/10	3/31/11	12/31/10	3/31/11	12/31/10
現金および有価証券	\$ 127.1	\$ 122.9	\$ 15.5	\$ 19.3	\$ 112.1	\$ 104.2
受取手形および売掛金	17.3	18.6	11.6	10.4	-	-
棚卸資産	13.3	11.5	13.3	11.5	0.1	0.1
GECS の金融債権—純額	301.7	308.5	-	-	308.4	317.7
固定資産—純額	67.5	66.2	13.2	12.4	54.3	53.8
GECS に対する投資	-	-	72.1	69.0	-	-
営業権・無形固定資産	79.2	74.4	49.6	45.0	29.6	29.4
その他の資産	114.9	105.3	34.7	17.3	86.5	93.5
売却対象事業の資産	1.6	36.9	-	33.8	1.6	3.1
非継続事業の資産	<u>5.2</u>	<u>6.9</u>	<u>0.1</u>	<u>0.1</u>	<u>5.1</u>	<u>6.9</u>
総資産	\$ 727.8	\$ 751.2	\$ 210.1	\$ 218.8	\$ 597.7	\$ 608.7
負債および資本						
借入金および銀行預金	\$ 466.7	\$ 478.6	\$ 10.4	\$ 10.1	\$ 458.1	\$ 470.6
投資契約・保険損失・						
保険および年金給付	29.8	29.6	-	-	30.4	30.0
その他の負債	102.8	100.5	74.9	70.0	33.4	35.2
売却対象事業の負債	0.6	16.0	-	15.5	0.6	0.6
非継続事業の負債	2.1	2.3	0.2	0.2	1.9	2.1
株主資本	123.5	118.9	123.5	118.9	72.1	69.0
非支配持分	<u>2.3</u>	<u>5.3</u>	<u>1.1</u>	<u>4.1</u>	<u>1.2</u>	<u>1.2</u>
負債および資本合計	\$ 727.8	\$ 751.2	\$ 210.1	\$ 218.8	\$ 597.7	\$ 608.7

(a) GECSを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業事業分野を対象。

2011年3月31日現在。未監査。補足のデータを「GE」および「GECS」欄に示す。「連結」欄にはGEとGECS間の取引を含まない。
連結および修正事項に関する詳細な情報はwww.ge.com/ar2010に掲載されている2010年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー GAAPデータを補足する財務諸表データ

GAAP 基準で作成されていない連結財務諸表の情報を使用する場合があります。この種のデータは、SEC基準では「非GAAP財務指標」として扱われます。こうした非GAAP財務指標は、本リリースで発表したGAAP指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここで取り上げるのは、営業利益、1株当たり営業利益、産業分野事業の本業による内部売上成長、GECCの負債比率、産業分野の営業活動によるキャッシュフロー（インダストリアルCFOA）です。これらのデータは後に最も比較に適したGAAP基準と照合されます。

営業利益および1株当たり営業利益

(単位：100万ドル。ただし1株当たり利益を除く)

	3月31日までの 3ヶ月間		
	2011	2010	V%
継続事業からの利益	\$ 3,414	\$ 2,311	48%
営業外の税引き年金コスト（収入）を差し引く	163	(51)	
営業利益	<u>\$ 3,577</u>	<u>\$ 2,260</u>	58%
1株当たり営業利益－希釈後			
継続事業からの1株当たり利益	\$ 0.31	\$ 0.21	48%
営業外の税引き後年金コスト（収入）を差し引く	0.02	(0.01)	
1株当たり営業利益	<u>\$ 0.33</u>	<u>\$ 0.20</u>	65%

営業利益は、当社の主要な年金プランにおける非サービス関連の年金コスト（利息コスト、プラン資産の期待リターンおよび数理的損益の償却から成るコスト）を除外します。主要な年金プランのサービスコストおよび、以前サービスコストに含まれていた項目は営業利益に含まれます。これらの年金コスト項目は、当社従業員への年金給付における継続的サービス関連コストをより正確に反映しているため、経営陣ならびに投資家の皆様が当社の業績を判断する際に、営業利益を指標として提供することが有用であると考えます。GAAP基準の年金コストにおけるその他項目は主に市場のパフォーマンスに依存するため、これらの項目は当社の営業活動による業績とは別に管理しています。GAAP基準および営業年金コストのいずれも、必ずしも当社の年金プランに関する現在または将来の資金需要の参考値となるものではありません。また、営業利益による財務指標を、対応するGAAP財務指標と合わせて参照することで、経営陣ならびに投資家の皆様が当社業績を他社業績と比較するのに有用な追加情報となると考えています。

産業分野事業の売上による内部成長率

(単位：100万ドル)

	3月31日までの 3ヶ月間		
	2011	2010	V%
GEとして報告済の売上	\$ 27,573	\$ 24,400	
継続事業による利益から GECS の利益を差し引く	1,806	515	
産業分野事業の売上	25,767	28,885	
以下の影響を除く：			
買収、事業売却（投資目的で取得した事業の売却を除く）および為替レート	5,398	4,516	
買収、事業売却（投資目的で取得した事業の売却を除く）および為替レートを除く産業分野事業の売上（産業分野事業の本業による内部売上）	<u>\$ 20,369</u>	<u>\$ 19,369</u>	5%

本業による内部売上成長とは、買収、事業譲渡（投資目的で取得した事業の売却を除く）および為替レートによる影響を除いた売上を測定するものです。前述の影響により、事業活動が大きな変動にさらされ、本来のトレンドが見えにくくなる可能性があるため、それらを排除したデータを提供することによって経営陣ならびに投資家の皆様が、確立され継続中の事業の業績やトレンドについて、より完全な形で理解して頂けると考えています。また、産業分野事業の本業による内部売上成長の情報を別途記載することにより、経営陣および投資家の皆様が当社のインダストリアル部門の事業トレンドを理解するのに有用な情報となり、他の非金融業の事業や企業とより直接的に比較することができると考えています。当社経営陣は、「内部売上成長」という用語が他の企業および異なる状況においては、解釈が異なる可能性があることを認識しています。このデータは、異なる会社間の成長率（絶対数ベース）の比較にも効果を発揮する可能性があるものの、こうした評価基準はそれぞれの事業または企業におけるトレンドを評価するのに有用だと考えており、一定期間ごとの業績トレンドの比較に役立つ可能性のあるツールであると考えています。

(次ページへ続く)

(前ページの続き)

ハイブリッド債を資本分類し、現金・現金同等物を差し引いた負債比率であるGECCのデット・エクイティ・レシオ
(GECCのレバレッジ)

(単位：100万ドル)

3月31日

GECC の負債

現金・現金同等物を差し引く
ハイブリッド債を差し引く

GECC のエクイティ

ハイブリッド債を含む

GECC のレバレッジ・レシオ

	2011	2010
	\$ 452,821	\$ 501,690
	66,649	59,738
	7,725	7,725
	\$ 378,447	\$ 434,227
	\$ 76,143	\$ 71,650
	7,725	7,725
	\$ 83,868	\$ 79,375
	4.5:1	5.5:1

GECCのデット・エクイティ・レシオを表示しています。これは、負債削減に必要な現金・現金同等物の使用状況および、2066年と2067年に償還予定の長期負債をエクイティとみなし、その内容を反映したものです。負債削減のために手元現金を使う可能性があること、および当該長期負債は資本に準じる性質を持つため、この数字を開示することがGAAPベースのDEレシオとの比較に有用であると考えています。この補足財務指標の有用性は限定的である可能性があります。ただし、ある一時点での現金・現金同等物の総額は、負債残高削減の使途をもつ現金・現金同等物の金額と異なることがあり、特定の長期負債をエクイティに読み替えることは実践的ではない、または便益をもたらさない可能性があります。こうした制限となり得る事項を差し引いても、この財務指標を対応するGAAP指標と合わせて検討することで、投資家の皆様が当社の状況を他の金融機関および事業会社と、より適切な形で比較するのに役立てて頂けるものと考えています。

インダストリアルCFOA

(単位：100万ドル)

3月31日までの
3ヶ月間

GE の営業活動で得たキャッシュ

GECS からの配当を差し引く

GECS からの配当を除いた GE の営業活動で得たキャッシュ

(インダストリアル CFOA)

	2011	2010	V%
	\$ 1,684	\$ 2,551	
	-	-	
	\$ 1,684	\$ 2,551	(34)%

インダストリアルCFOAはGEが営業活動で得たキャッシュからGECSからの配当金を差し引いたものです。これには次の社内取引による影響が含まれます。GEからGECSへ販売されたGE顧客の受取債権、売上債権管理・資材調達などのGECSのサービス、ビルや機器（自動車を含む）のGECSからGEへのリース、GEからGECSへの情報技術（IT）などのサービスの販売、GECSがリース用にサードパーティのメーカーから購入した航空機に搭載されているGEが製造した航空機エンジン、その他の投資、貸付金、会社運営諸経費の配分。GECSからの配当を除いてGEが営業活動からどれだけキャッシュを得られるかは投資家の皆様の有用な判断材料になるかと思いますが、GECSからの配当金を除くのは、産業事業分野で得るキャッシュフローを反映しないこと、ならびに毎年に金融サービス事業の業績が大きく変動するためです。このキャッシュフローのデータは、産業事業と金融事業の双方を営む企業との比較には役立たないかもしれませんが、金融サービス事業から得ている配当の額について追加情報を得ることで、比較が可能になります。このデータは金融サービス（GECS）のキャッシュフロー報告書に記載されています。インダストリアルCFOAは、産業事業分野のキャッシュを生み出す実力を経営陣ならびに投資家の皆様が正確に判定し、他の非金融業の事業や企業と比較するのに有用と考えるため、GAAP規則によるCFOA値を補足するデータを掲示しています。